



おか むら
岡村

たけし
武

し せい かい
至誠会

教室にエアコンがあれば夏休み等は不要では

問 平成29年度から32年度までの4年間で、約23億円もの費用をかけて、小中学校の普通教室にエアコンを設置することのだが、エアコンの設置により、夏休みも冬休みも必要なくなるのではないか。

昔の子どもは、暑さや寒さに耐えて大人になってきたのに、今の子どもが耐えられないのは、なぜなのか。

教育とは甘やかすことなのか。

答 夏休みは、夏の暑さにより学習効率が上がらないため始まったものではあるが、長い歴史の中で、子どもたちが自然体験をしたり、中学校の部活動における大会へ参加したりなど、長期の休みを利用した活動が実施されており、有意義な期間となっている。

また、冬休みは、冬の寒さもあるが、正月を含む年末年始を家庭で過ごすのが適当であるという理由もあって、その時期に設定されている。

決して子どもを甘やかすことがいいとは捉えておらず、厳しい環境において精神を鍛えることも非常に大切なことであると考えている。

●その他の質疑・質問●

○教育について

- 特別支援学級の在籍人数は
- 情緒障がい児は、虐待などを要因とする場合もあるというが、教育委員会と健康福祉部が連携し、「情緒障がいの根源」を断つ必要があると考える



▲市内の中学校の普通教室に設置されたエアコン



わた なべ てる かず
渡辺晃一

つ し みん かい
津市民の会

津市立三重短期大学と地域福祉の関わりは

問 7年後には、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、介護する側の人材不足が深刻な状況となる。例えば、大学卒業後に市内で働くことを条件に、学費免除や居住用アパートを無償提供することなどを全国に発信し、市内の介護・福祉分野で活躍できる質の高い人材を募集してはどうか。また、将来に向け、介護・福祉の学科新設や学部の見直しの考えは。

答 津市立の短期大学として、地域に根差し、津市のためになる短期大学でなければならぬと考えており、介護・福祉分野において、社会ニーズとして求められているのであれば、それに応えていくことが責務であると考えている。

現在、生活科学科、生活科学専攻の生活福祉・心理コースが介護・福祉に関する学科に相当し、多種多様な社会福祉ニーズについて、総合的に捉えることのできる人材を育成しているが、新たに学科を設置するとなると、地域の他の大学とのバランス、短期大学設置基準等に見合う教員数の確保や組織、規模に応じた施設を整備する必要があり、経費的な検討も必要となることから、簡単には結論が出せない状況である。

●その他の質疑・質問●

- 平成30年度からの介護保険料改定の根拠と今後の見通しは。また、これからの介護保険と高齢者福祉について
- 獣害に対する攻めの捕獲策はあるのか。平成29年度のサル等捕獲の取組実績と平成30年度の地域と連携したさらなる取組は
- モーターボート競走事業に関して、売上状況や老朽化施設の改修、今後の事業の方向性は



▲平成30年度予算5億6千万円の三重短期大学